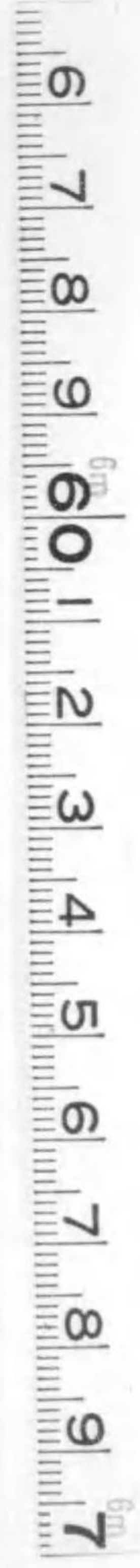


327

682

米券倉庫経営の概要

国立国会図書館



始



工ト7M-62

327
682

米券倉庫經營之概要

緒言

米券倉庫ハ獨リ農家經濟上便益スル所多大ナルモノアルノミナラス商業者ニ於テモ亦其ノ利澤ニ均霑シ且併セテ地方生産ノ開展ヲ助長スル等特種ノ機能ヲ有スル極メテ有望ノ事業ナルヲ以テ之カ經營ニ關シテハ大ニ調査研究スヘキ價値アリト信シ曩ニ「農業倉庫ニ關スル調査」ト題スル小冊子ヲ印刷シテ博ク當業者ニ頒チ聊カ研究ノ資料ニ供シタリシカ從來未タ實地經營ノ情況ヲ視察スルノ機會ニ接セサルヲ以テ所謂隔靴搔痒ノ嘆アルヲ免レサリキ

本年三月命ヲ承ケテ熊本、福岡兩縣行政ヲ視察スルヤ熊本縣ハ夙ニ米券倉庫ノ事業行ハレ今ヤ殆ト縣下各郡ニ普及シテ着々其ノ効果ヲ收メ同縣米政上ノ一特色トシテ異彩ヲ放テルノ實況等ヲ查察スルニ及ヒテ大ニ得ル所アリ乃チ歸來寸暇ヲ儉ミテ此ノ一編ヲ草シ敢テ再ヒ當業者ノ參考ニ資セントス蓋書中記述スル所ノモノ固ヨリ同縣ニ於ケル米券倉庫經營ノ概要ニ就キテ聊カ筆ヲ染メタルニ

過キサルヲ以テ粗漏ノ點亦尠カラサルヘシト雖或ハ其ノ大体ヲ知ルノ一助タル
コトヲ得ン哉希クハ他山ノ石トシテ一段ノ研究ニ努メ他日蹶起シテ之カ經營ヲ
企ツルモノアルニ至ランコトヲ望ムト云爾

大正二年六月上澁

丹生郡長 佐々木武介

米券倉庫經營ノ概要目次

第一	米券倉庫ノ意義及其ノ事業	一頁
第二	米券倉庫ニ依リテ得ヘキ利益	四
第三	熊本縣ニ於ケル米券倉庫ノ沿革及其ノ現況	八
第四	米券倉庫經營ノ順序及注意スヘキ要項	二一
第五	餘論	二三
附 録		
一	米券倉庫組合定款(普通組合組織)	二七
一	米券倉庫匿名組合契約	二八
一	米券倉庫株式會社定款(橫島米券倉庫)	三二
一	業務規定	三四
	(同 上)	三九
一	預リ證券(米券)	四五
一	質入證券(米券)	五二
一	入倉庫通告票	五五
一	出倉庫通告票	五五
目次		

米券倉庫經營ノ概要

第一 米券倉庫ノ意義及其ノ事業

米券倉庫トハ米穀ノ寄託ヲ受ケテ之ヲ保管スルモノニシテ其ノ特色トスル所ハ保管物件ガ單ニ米穀ノミ
ニ限ラレ且之ヲ混同保管スルニ在リ米券倉庫ハ米穀ヲ保管スルト共ニ幾多ノ事業ヲ兼營セリ即チ其ノ主
要ナルモノヲ列舉スレハ左ノ如シ

- 一 米穀ノ保管
- 二 俵裝又ハ其ノ改造ノ受託
- 三 米穀移送ノ受託
- 四 保管米ニ對スル金融
- 五 米穀賣買受渡ノ受託
- 六 保險業ノ代辦
- 七 小作米徵收ノ受託
- 八 産米品評會ノ開催、肥料農具及種子ノ共同購入等農事改良ニ資益スル事業

米券倉庫ハ會社組織、普通組合、若クハ匿名組合ノ事業トシテ經營スルモノニシテ其ノ性質上多少公益

米券倉庫ノ意義及其ノ事業

的ノ意義ナキニアラサルモ現今ノ法制上特別ノ規定ナキガ故ニ普通倉庫營業ト同シク商法第三百五十七條乃至第三百八十三條ノ支配ヲ受ケサルヲ得サルコト勿論ナリ

米券倉庫ノ事業ハ大体之ヲ(一)検査部(二)保管部(三)俵裝部(四)融金部ノ四部ニ區別セラレ検査部ニ於テハ入庫米ニ對シ一定ノ標準ニ依リテ之ヲ審査スルモノニシテ熊本縣ノ如キハ各倉庫ニ縣ノ輸出米検査出張所ノ設ケアルガ故ニ該検査員ノ検査ヲ經テ合格シタルモノニハ検査積込票ヲ交付シテ入庫ヲ許シ寄託者ハ此ノ積込票ヲ受取リテ保管部ニ至ルトキハ保管部ハ之ト引換ニ入庫米通告票ナルモノヲ交付スルナリ入庫米通告票ハ證券掛ニ於テ寄託者ノ請求ニ依リ預證券即チ米券及質入證券ト引換フルモノトス、俵裝部ハ米穀入庫者ノ寄託ヲ受ケ俵裝又ハ其ノ改造ヲ爲シ、融金部ハ特約セル地方ノ銀行ト連絡シテ米券ニ對シテ金融ノ取扱ヲナスモノニシテ又其儘之ヲ荷爲替ニ切替フルコトヲモ爲スナリ米券倉庫ニハ孰レモ倉庫長ヲ置キ主トシテ米券ノ發行及會計ニ關スル事務ヲ取扱ヒ各部ニハ部長ヲ置キ其ノ主擔ノ事務ヲ分掌セリ

入庫米ハ其ノ品種ト等級ノミヲ區別シ同種同等米(例之ハ神方種ノ一等米、雄町種ノ二等米ト區別スルガ如シ)ヲ合同集積スルモノニシテ蓋米券倉庫ノ特色トスル所ナリ(我カ縣ノ如キ米ノ種類極メテ多種ナル現況ニ在リテハ此ノ種類別ハ到底行フコトヲ得サルニ依リ單ニ大粒、小粒ニ區別スヘキカ)而シテ在庫米ニハ火災保險會社ト特約シテ萬一ノ災害ニ備ヘリ

保管ノ米穀ヲ出庫セントスルトキハ受取人(米券所有者ナレハ誰人ニテモ可ナリ)ニ於テ米券ノ裏面ニ年月日ヲ記入シ記名捺印シテ差出ストキハ倉庫長ハ保管料其ノ他ノ立替金ノ辨濟ヲ受ケ出庫通告票ヲ交付シ保管部ニ於テハ之ト引換ニ其ノ品種等級ニ依リ積込ノ順序如何ニ拘ラス入庫米ヲ引渡スナリ

預リ證券即チ米券ハ現品ト同一ノ働ヲナスモノニシテ其ノ所持者ハ隨時隨處ニ之ヲ賣買讓與スルコトヲ得又小作人ハ地主ニ對シテ米券ヲ小作米トシテ納メ又生産者ハ之ヲ米商人ニ賣却スルコトヲ得ルヲ以テ其ノ便利尠カラサルト共ニ米券其ノ物ノ價值最モ重大ナリトス故ニ米券ハ倉庫長ニ於テ責任ヲ負フテ發行シ貯倉米ノ紛失、盜難、雨漏、鼠切、俵亂等一切ノ損害ハ之ヲ賠償スルナリ又天災地變其ノ他抗拒スヘカラサル災害ニ依リテ生シタル損害ハ之ヲ公告シ入庫米持主五名以上ノ立會ヲ以テ検査シ之ヲ現在入庫米總數ニ割充テ差入主ニ分配スルヲ例トセリ

本倉庫ノ米券ニテ他ノ支庫ヨリ米ヲ引出シ又甲倉庫ノ米券ニテ乙倉庫ノ米ヲ受取ルコトヲ得ルノ便法アリ又移送保管ナル一ノ便法アリ即チ重要ナル各地ニ廣ク特約ノ倉庫ヲ設ケ或ハ米券倉庫聯合組合ト特約シテ各地方ノ米券倉庫ハ此ノ組合即チ中央倉庫ノ支庫タル形式ノ下ニ中央倉庫ノ手ヲ經テ保管場所ノ變更ヲ行フモノニシテ即チ其ノ預リタル米穀ヲ寄託者ノ希望ニ應シテ望ノ場所ニ運送シ更ニ汽船積入マテ之ヲ保管シ又其ノ船荷證券ニテ荷爲替取組マテノ取扱ヲモナスカ故ニ頗ル便利ナリトス

米券倉庫ノ保管料ハ大抵一ヶ月一俵ニ付壹錢ヲ通例トシ保管期間ハ毎年十一月ヨリ翌年十月迄ヲ以テ一

期トシ新古米ヲ區別スルナリ

米券倉庫ハ其ノ附帶ノ事業トシテ産米改良ノ獎勵、寄託者ノ請求ニ依リ直輸販賣、米穀市場ノ寄託ヲ受ケテ入庫米ノ買附輸送、種粃ノ購入配布、肥料ノ共同購入其ノ他斯業ノ改良ニ關シテ當業者ノ便益ヲ計レリ

第二 米券倉庫ニ依リテ得ヘキ利益

米券倉庫ノ事業ハ前ニモ述ヘタル如ク米穀ノ保管機關タルト同時ニ金融機關タリ、産米改良機關タリ、小作米徵收機關タリ、米穀販賣機關タリ、取引事業ノ改善機關タリ從テ米券倉庫ニ依リテ利益ヲ享受スヘキモノハ單リ一ノ地主ノミニ止マラス一般生産者、小作人、米商人等孰レモ之ガ利澤ヲ均霑スルコトヲ得ルナリ此等ノ享有スヘキ利益ノ要領ハ曩ニ印刷ニ付シテ郡内ノ當業者ニ配布シタル「農業倉庫ニ關スル調査」ニ詳ナルヲ以テ茲ニ記述スルハ聊カ重複ニ渉ルノ嫌ナキニアラスト雖順序上其ノ大体ニ就キテ之ヲ列舉スレバ左ノ如シ

(イ) 保管機關 現今一般ノ状態ニ依レハ地主其ノ他當業者ハ各自ニ米穀ヲ貯藏集積スルカ爲メニ幾棟カノ倉庫ヲ築造シテ所有セサルヘカラス從テ之レカ建築及維持上多大ノ費用ヲ要シ殊ニ保管ノ設備不充分ナルニ由リテ米ノ品質ヲ損シ或ハ害蟲ニ侵蝕セラレテ其ノ量目ヲ減スルヲ免レス終ニ不利益ナル賣放チヲ爲サ、ルヲ得サルニ至ルモノ尠シトセス元來米ハ商品トシテノ生命極メテ短少ニシテ

永續的ノ性質ヲ有スルモノニアラサルノミナラス蟲喰、鼠喰、變質、腐敗等ノ損害ヲ蒙ルノ不利アリ然ルニ斯ノ如キ不利益ヲ年々繰返サ、ルヲ得サルニ拘ラス尙之ヲ各自ニ貯藏スルカ爲ニ倉庫ヲ設クルハ經濟上其ノ宜ヲ得タルモノニアラス故ニ若シ其ノ地方ニ完全ナル米券倉庫ノ設ケアルトキハ悉ク之レカ保管ヲ委託シ地主等ハ唯一片ノ米券ヲ所有スレハ即チ足ルカ故ニ頗ル安全ニシテ且其ノ利便ノ至大ナルヘキハ實ニ想像スルニ餘アリト云フヘシ

(ロ) 金融機關 農村ニ於ケル金融機關ノ不備ハ農事ノ改良進歩ヲ阻害スルコト尠カラズ近時産業組合ノ勃興ニ依リテ稍此ノ欲陷ヲ補フコトヲ得サルニアラスト雖モ未タ以テ充分ナリトスルコト能ハサルナリ故ニ資本ニ乏シキ中産以下ノ農民ハ毎ニ商人ノ爲ニ左右セラレテ粒々辛苦ノ結果タル産米ヲ市價ノ如何ニ拘ラス商人ノ云フカ儘ニ賣却セサルヲ得サルノ不幸ヲ見ルコト屢ナリ米券倉庫ハ此ノ欲陷ヲ補フ上ニ於テ多大ノ効果アルヤ論ナシ即チ倉庫ニ産米ヲ委託シテ其ノ米券ヲ受ケタルトキハ資金ノ必要アルニ際シ何時ニテモ之ヲ融金都又ハ特約銀行ニ質入シテ金融ヲ得、租税、肥料代等ニ充テ農業資金ヲ圓滑ナラシメ又他日米價騰貴シテ産米ノ賣却ニ好時機ナリト認メタルトキニ米券ヲ賣却シテ一時借入金ヲ辨濟スルコトヲ得ル等はナリ要スルニ米券倉庫ハ主トシテ中産以下農民ノ爲メニ最モ簡便ナル金融機關ナリト云フヘシ

(ハ) 産米改良機關 米質ノ改良ハ地方經濟上ノ要務ナルハ茲ニ贅辨ヲ要セサル所ニシテ米穀検査ノ施

米券倉庫ニ依リテ得ヘキ利益

行ハ即チ之レカ最良手段タルハ既ニ實驗ニ徴シテ明カナリ米券倉庫ハ入庫米ニ對シテ其ノ品質、俵裝、枳量等ニ就キテ検査ヲ行ヒ優劣ニ應シテ等級ヲ付シ不合格米ハ入庫ヲ許サス又之ヲ販賣スル場合ニ在リテハ等級販賣トスルニ依リ優良米ハ自然ニ高價ニ販賣セラル、カ故ニ當業者ヲシテ反省自覺スル所アラシメ産米改良上ニ及ボス効果鮮少ナリトセス又小作米取立ニ際シテモ品質、等級ニ應シテ獎勵ノ方法ヲ施スヲ以テ小作獎勵上ノ効果モ亦併セテ之ヲ舉クルコトヲ得ヘシ

(二) 小作米徴收機關 小作米ノ取立ハ頗ル勞費多クシテ一々米質、俵裝、枳量等ヲ點檢セサルヲ得ス且時々酒食ヲ饗シテ之ヲ勞フ等ノ習慣アル而已ナラス動モスレハ兩者間ニ調和ヲ欲クコトアルハ一般ニ認ムル所ナリ今米券倉庫ヲ利用スルトキハ小作米取立上非常ニ便利ニシテ毫モ此等ノ勞費ヲ要セス小作者ニ於テモ亦一々遠隔ノ各地主ノ許ニ運搬スルヲ要セスシテ自憫ノ産米ト共ニ最寄倉庫ニ搬入シテ米券ヲ受取り之ヲ各地主ニ送付スレハ足ルヲ以テ勞力ト時間ヲ省クコト至大ナリ但シ地主ニ在リテハ諸種ノ冗費ヲ省クコトヲ得ルカ故ニ之ヲ轉シテ小作獎勵費ニ充用セハ小作人ハ喜ヒテ益優等米ノ産出ニ努ムヘク彼是共ニ頗ル利益ニシテ而モ所謂地主小作間ノ紛擾問題ノ如キハ殆ント絶無トナルニ至ルヘシ

(ホ) 米穀販賣機關 優良ナル産米モ販賣機關ニシテ欲クル所アラン乎米ノ實價以上ノ市價ト信用トヲ博スルコト能ハサルハ幾多ノ實例ノ示ス所ナリ米券倉庫ハ即チ集散及販賣機關トシテ最モ完備セル

モノナルコトハ下ニ記スル所ニ依リテ明カナルヘシ

第一ニ米券ニ依リテ金融ノ途アルカ故ニ當業者ハ市價ヲ觀察シ米價騰貴ノ時機ヲ見テ販賣シ得ルヲ以テ商人ノ爲メニ濫ニ其ノ價額ヲ左右セラル、カ如キコトナク殊ニ倉庫ニ委託シテ共同販賣ヲ行ヒ得ルカ故ニ一層販路ヲ擴メ且市價ヲ昂ムルコトヲ得ヘシ又米ノ商況不振ニシテ其ノ地方ニ於テ取引行ハレサルトキハ米券ヲ各市場ニ賣却シ又ハ郵便ニ依リテ遠ク需用ノ市場ニ高價ノ取引ヲ求メ得ヘク且米ヲ米券倉庫ニ納ムルトキハ米穀販賣ノ時機ト相場ノ如何ニ依リ三等米ハ入梅前ニ賣却シ一二等米ハ夏季若クハ盆前ニ賣却シ上等米ハ京阪又ハ東京ニ、下等米ハ地方ニ供給スルカ如ク米穀ヲ自由ニ販賣スルコトヲ得ル等ノ利益モ亦僅少ナラサルナリ其ノ他米券賣買ハ現米取引ヨリハ商業上便利ナルガ故ニ一層買収人ヲ多カラシメ且自ラ米價ヲ高昂セシムルニ至ルナリ

以上列舉スル所ノ外向米穀取引所ニ於ケル定期賣買米ノ審査法不完全ニシテ米穀改良、價格昂進上障害スル所少カラサルモ若シ米券倉庫發達シテ取引所ノ受渡ノ米券ヲ以テスルニ至ラハ最モ確實ニシテ現ニ酒田米穀取引所ノ如キハ限月賣買ハ凡テ米券ニテ圓滿ニ受渡行ハレ近時熊本縣米穀取引所ニ於テモ亦米券ヲ以テ直取引ヲ開始スルノ氣運ニ趨キタルカ如キハ即チ米券倉庫カ取引事業ノ改善機關タルコトヲ證スルニ足ルヘシ

又米券倉庫ノ活用ニ依リテ利益ヲ享クルモノハ地主、生産者及小作人ニ止マラス米商人側ニ在リテモ亦

大量ノ米穀ヲ容易ニ糶ムルコトヲ得ルカ故ニ仲買人ヲ各地ニ派シテ一々品質、俵裝、辨量等ノ點檢、運賃其ノ他手數料等ヲ要スルコトナク又必スシモ多クノ現金資本ヲ要セス若シ金融ノ必要アルトキハ質權ヲ設定シテ其ノ儘輸送シテ市場ニ送ルコトヲ得ヘク、現品集積ノ場所ニ苦慮スルノ要ナク、單ニ米券其ノ物ノミニ依リテ希望ノ品種、等級ノ米ヲ集ムルコトヲ得ヘク、從テ商人ハ自己ノ手腕商略ヲ縱橫ニ發揮シテ充分ナル活動ヲ爲スコトヲ得ルヲ以テ米券倉庫ハ米商人側ヲ利スルコト又至大ナルモノアリト云フベシ

第三 熊本縣ニ於ケル米券倉庫ノ沿革及其ノ現況

熊本縣ニ於テハ肥後米改良ノ第一着手トシテ明治三十一年九月肥後米輸出同業組合ヲ設立シテ輸出米檢査ヲ開始シ爾來官民協力其ノ事業ノ進捗ニ努メタル結果着々産米改良ノ實績ヲ奏シ大ニ肥後米ノ聲價ヲ發揚スルニ至レリト雖尙米穀ノ集散及金融ノ利便ニ缺クル所アルヲ遺憾トシ山形縣酒田ニ於ケル米券倉庫ノ成績ニ鑑ミ實地視察ヲ重ネテ之レカ設立ノ必要ヲ認メ遂ニ輸出同業組合監督ノ下ニ明治三十七年十一月八代郡鏡町ニ米券倉庫ヲ設立シタリ之レ同縣ニ於ケル米券倉庫ノ濫觴ナリトス蓋同地ニハ元御藏米ヲ收納シタル舊藩主細川家ノ大倉庫アリ殊ニ舟楫ノ便ハ頗ル米穀ノ集散ニ適スルヲ以テ先ツ地ヲ茲ニ撰定シタルモノナルヘシ爾來其ノ事業ノ利便ニシテ公益ノ莫大ナルコト漸次一般ニ認メラレテ各地ニ勃興

スルノ氣運ニ趨キ一面ニハ縣亦縣費ヲ補助シテ極力之レカ獎勵ニ努メタル爲メ今ヤ米券倉庫ノ數四十三ニ達シ倉庫ノ棟數五百三十四、總坪數約九千五百坪ノ多キニ上リ其全体ニ於テ約七十萬俵ヲ收容シ得ルノ盛況ヲ呈シ縣管輸出米檢査事業ト相俟テ大ニ其ノ特色ヲ發揮シツ、アルハ洵ニ羨望ニ堪エタルナリ又本縣ニハ米券倉庫事業ノ統一ト其ノ擴張ヲ圖ルノ目的ヲ以テ成レル肥後米券倉庫組合アリ且各地方ノ倉庫米ノ統一連絡ヲ計リ米券ノ活用ヲ大ナラシムルノ目的ヲ以テ成レル肥後米券倉庫株式會社(資本金拾萬圓)アリ中央倉庫ヲ設ケテ地方倉庫ト移送米取扱規程ヲ契約シ各地ノ倉庫米ハ質權設定ノ儘之ヲ孰レノ地ニ於テモ出庫授受シ得ルノミナラス運送海上火災等ノ保險ニ關シテモ亦其ノ契約ヲ一齊ニスル等此等各種ノ機關相連絡シテ斯業ノ發達ヲ圖リ米券ノ効果ヲシテ一層有利ナラシメツ、アリ

縣下米券倉庫中最モ隆盛ニシテ且特色アルモノヲ橫島米券倉庫及鏡米券倉庫トス仍テ此ノ兩倉庫ノ情況ヲ視察調査シタル概要ヲ左ニ掲舉セントス

(甲) 橫島米券倉庫 (玉名郡橫島町ニ在リ)

當倉庫ハ株式會社ノ經營ヲ以テ創設シタルモノニシテ資本金五萬圓ヲ百株ニ分チ一株ヲ五百圓トシ一年千俵以上ノ收得アル大地主九名之レカ株主トナリ既ニ其ノ四分ノ一ノ拂込ヲ了セリ而シテ資金ハ勸業債券ヲ買入レテ之ヲ保管セリト云フ是レ營業上最モ必要ナル倉庫ハ株主所有ノモノヲ貸貸スルカ故ニ何等資本ヲ固定セシムヘキ要ナキヲ以テナリ

會社ノ營業トスル所ハ「第一節」ニ於テ記述シタル米券倉庫ニ屬スル各種事業ヲ兼營スルニ在リト雖モ主トシテ米穀改良、販路、金融ノ三方面ニ對シテ最モ力ヲ盡シ創設以來米穀改良ノ上ニ於テ、又金融機關トシテノ上ニ於テ着々効果ヲ收メ殊ニ深川問屋ノ批判ニ依レハ當倉庫ノ成績ハ頗ル好評ナリト云ヘリ會社ニハ取締役四名(社長ハ取締ノ一人田代保之) 監査役四名ヲ置キ本支ノ倉庫ニハ各倉庫長及保管部長ヲ置キ其ノ下ニ保管係、積込係アリ各其ノ事務ヲ分擔セリ又倉庫事務ヲ專擔セシムル爲メ書記一名ヲ置キ其ノ他縣輸出米檢査出張所詰ノ檢査員ハ一面監督ノ意味ヲ以テ倉庫ニ在勤スルモ他ノ一面ニハ倉庫事務ニ關與スルヲ以テ頗ル相互ニ便利ナルカ如シ當倉庫ノ棟數及坪數左ノ如シ

本支ノ別	棟數	坪數	摘	要
本 庫	一七	三五六・七七	視察シタル倉庫ハ大抵六七十坪アリシ	
九 番	四	八八・七五		
栗 尾	一五	二一五・〇〇		
豐 水	一九	二四一・三二		
伊 倉	五	九八・〇〇		
計	六〇	九九九・八四		

此等ノ倉庫ハ同社ニ於テ建設シタルモノニアラスシテ悉ク株主自個ノ建物ヲ賃貸借セルモノニシテ賃借料ハ一俵ニ付月五厘即チ倉敷料ノ半額ニ當ルナリ而シテ他ノ半額ニテ會社事業ヲ經營シテ尙優ニ利益アルハ左ノ損益計算書ニ依リテ之ヲ證スルコトヲ得ヘシ

明治四十四年度本店倉庫損益計算書

科 目	金 額	科 目	金 額
保 管 料	八二八・七二〇	倉庫賃借料	三二九・一六七
俵 裝 料	二、二二七・八六四	俵 裝 料	二、〇〇八・二九九
仲仕賃立替收入	三一六・三三〇	仲仕賃仕拂	三五三・二二四
雜 收 入	二八五・〇〇〇	給料報酬	四四四・〇〇〇
		火災保險料	八二・八〇〇
		雜 費	一四四・六九〇
		俵裝部借入金償却	二〇〇・〇〇〇
合 計	三、六五七・九〇四	合 計	三、五六二・一八〇

差引 金九拾五圓七拾貳錢四厘

利 益 金

九番倉庫損益計算書	
科益目	金額
保管料	三三六・九九〇 <small>円</small>
俵装料	八九三・二〇〇
仲仕貸立替收入	九五・八五五
雑収入	一二五・〇〇〇
合計	一、四五一・〇四五
科損目	金額
倉庫賃借料	一六八・四九五 <small>円</small>
俵装料	八三九・二二一
仲仕賃仕拂	九三・九八〇
火災保険料	九六・五一四
雑費	四五・一七四
諸給料	一六八・〇〇〇
合計	一、四一一・三八四
利益金	

栗尾倉庫損益計算書	
科益目	金額
保管料	二五六・四四〇 <small>円</small>
倉庫賃借料	二四二・八三〇 <small>円</small>
利益金	

豊水倉庫損益計算書	
科益目	金額
俵装料	五七九・二〇〇
證券料	六〇〇
雑収入	三〇・四五〇
合計	八六六・六九〇
科損目	金額
俵装料	五七九・二〇〇
雑支出	二・四〇〇
合計	八二四・四三〇
利益金	

豊水倉庫損益計算書	
科益目	金額
保管料	一四九・〇五〇 <small>円</small>
俵装料	三六七・五〇〇
雑収入	一二・八六〇
合計	五二九・四一〇
科損目	金額
倉庫賃借料	一四三・一四五 <small>円</small>
俵装料	三六七・五〇〇
雑支出	一・六五〇
合計	五〇三・二九五
利益金	

益		損	
目	額	目	額
保管料	八六・一〇〇	倉庫賃借料	七七・四九〇
俵装料	一九三・二〇〇	俵装料	一九三・二〇〇
雑収入	一〇・一三〇	雑支出	一・五〇〇
合計	二八九・四三〇	合計	二七二・一九〇
差引	金拾七圓貳拾四錢	利益	金

益		損	
目	額	目	額
倉庫組合ヨリ監督獎勵金	二三八・一四七	倉庫組合負擔金	六七・八七二
預金利子收入	二五・六四〇	諸税金	一〇〇・二八〇
勸業債券利札	一九九・四五〇	雜費	三三・八七〇
振替金利子收入	四六六・七二六	印刷費	二八・二〇〇
借入金利子	三一四・八三〇		
債券所得税	三・一二五		
本店倉庫長報酬	九五・七二四		
九番倉庫長報酬	三九・六六一		
栗尾倉庫長報酬	四二・二六〇		
豊水倉庫長報酬	二六・一一五		
伊倉倉庫長報酬	一七・二四〇		
合計	一、二五〇・九六三	合計	七六九・一七七
差引	金參百八拾壹圓七拾八錢六厘	利益	金
利益分配		當期利益	金
一金參百八拾壹圓七拾八錢六厘			

右ノ如ク收支差引計算上參百八拾壹圓餘ノ純益アルヲ以テ之ヲ考フルモ米券倉庫ノ事業ハ單ニ營利的の見地ノ上ヨリ之ヲ見ルモ適當ナル土地ニ於テ適當ナル倉庫ヲ有シ且相當集散スル生産米アルニ於テハ最モ有利ノ事業ナルコト明カナリ況ンヤ其ノ他無形ノ利益極メテ饒多ナルニ於テオヤ

横島地方ハ小田郷ト稱セシ八ヶ町村ノ中心地ニシテ稻作反別二千五百三十町步年收五萬七千五百三十八石此ノ農家戸數約三千八百戸、人口二萬ノ一大郷邑ヨリ成リ收穫米十四萬三千俵ノ内消費米四萬六千俵ヲ差引キ残り九萬七千俵ハ全ク他ニ販賣セラル、モノニシテ内約五萬五千俵ハ當米券倉庫ヲ經テ輸出スルモノトス今最近六ヶ年間ニ於ケル産米ニシテ當倉庫ニ入庫シタル俵數ヲ舉グレバ左ノ如シ

年次	小作米入庫	農民入庫	米商入庫	合計	證券發行
明治三十九年	三、四三〇	一〇〇	二、二四九	五、六七九	一、〇四五
同 四十年	四、三三二	二六九	一、一〇〇	五、七二一	三、五四九
同 四十一年	八、七二二	二二、〇七一	一四、九二七	四五、七一九	一四、六三九
同 四十二年	九、五三七	二五、七六七	五、二六一	四〇、五六二	九、一三八
同 四十三年	二二、〇四一	二一、九七〇	五、八五八	五〇、八六九	一三、四二一
同 四十四年	二六、九七九	一七、三七一	一一、六八〇	五六、〇三〇	二七、七四一

其ノ他當倉庫ニ依ラザルモノ即チ非米券倉庫ノ輸出米ハ約一萬七千俵ナルヲ以テ其ノ歩合ハ米券七割六分、非米券二割四分ニ當レリト云ノ

當倉庫ノ保管料ハ一ヶ月一俵壹錢トシ又入庫スル産米ノ俵裝ハ委託ニ應ジ一俵拾錢ノ俵裝料ヲ徴シテ一

手ニテ完全ニ俵造ヲナシ其ノ他繩替ハ一俵ニ付五錢五厘、縱横繩掛替締直シハ參錢トシ、精撰料ハ萬石掛參錢、線直シ參錢、兩者ヲ併ストキハ五錢ヲ徴シテ之ヲ改裝ス、故ニ當倉庫ノ俵裝ハ最モ信用厚ク商品トシテノ價值充分ナリトノ公評ヲ博セリト云ヘリ尙入庫及出庫ノ仲仕賃ハ各一俵五厘ト規定セリ而シテ如上ノ用務ヲ辨セシムル爲メ當倉庫ニハ一時仲仕三十人前後ヲ置クコトアリト云フ以テ繁忙ノ狀ヲ想見スルニ足レベシ又融金部ニ於テ融金シタル金額ヲ調査スルニ大凡左ノ如シ

年 度	融 金 狀 況		口 質 債 權 登 録	金 額
	口 數	融 金 額		
明治三十九年度	三一	二五、五八五	一	一
同 四十年 度	二〇	一五、六九一	五	一、二九三
同 四十一年 度	三五	一三、二一五	二九	六、四〇九
同 四十二年 度	六九	一三、五二七	一六	四、二六七
同 四十三年 度	一三八	一三五、七三二	二九	一一、六一六
同 四十四年 度	一	一	一〇七	二七、七四一

年度ハ十一月一日ヨリ翌年十月三十日迄ヲ以テ一年度トス

(乙) 鏡町米券倉庫(八代郡鏡町ニ在リ)

當米券倉庫ハ熊本縣ニ於ケル米券倉庫ノ嚆矢ニシテ匿名組合組織ノ經營ニ屬シ其ノ倉庫ハ舊藩主細川家ノ御藏米倉庫二棟ヲ極メテ低廉ナル借貸ニテ借受ケ之ヲ使用セリ一棟ハ一百二十坪(四間ニ三十間)一棟ハ八十坪(四間ニ二十間)ノ坪數ヲ有シ約二萬俵ヲ收容シ得ルナリ(借貸ハ年各五拾圓宛)而シテ其ノ構造ハ周圍ヲ板張トシ雨季ノ濕氣ヲ防ギ夏時ニハ即チ空氣ノ流通ヲ能クシ土臺ハ石ニシテ床トノ距離三尺ヲ隔テ高ク臺ヲ築キテ水害ニ備ヘリ前方ニハ運河アリ直ニ船積トナシ以テ海路三角港(米穀集積港)ニ達スベク頗ル便利ノ地ニアリ

本倉庫ハ明治三十七年ノ設立ニシテ當時事創始ニ屬スルヲ以テ土地ノ有志者ハ屢會合協議スル所アリ本事業ノ成功ハ一ニ之レガ首腦者ノ人物如何ニ在ルコトヲ認メ土地ノ名望家白石彌一郎ヲ推シテ倉庫長トシ諸般經營ノ任ヲ囑シ他ノ有志三名ト共ニ遂ニ匿名組合ヲ組織シテ之ヲ經營スルコト、ナリ爾來入庫米ノ獎勵及生産者ニ對スル資金ノ融通等ニ關シ或ハ官廳及實業團體ニ交渉シ或ハ附近町村地主、生産者及米商人ニ勸誘シテ着々事業ノ進捗ヲ圖リ漸次米券倉庫ノ價值ヲ發揚シ次テ同郡有佐町ニ米券支庫ヲ開キ本支相呼應シテ益事業ノ隆昌ヲ圖リ今ヤ縣内米券倉庫ノ巨擘ト稱セラル、ニ至レリト云フ

營倉庫ニ於ケル收支ノ計算ハ倉庫長不在ノ爲之レカ内容ノ詳細ヲ聞クコトヲ得サリシモ其ノ概要ハ左ノ如シト云ヘリ

一ケ年間ニ於ケル收容俵數平均約十五萬俵トシ此ノ保管料一俵八厘ナルヲ以テ金千貳百圓ノ收入トナル内其ノ三分ノ一即チ金四百圓ヲ火災保險料ニ百圓ヲ倉庫賃借料ニ支拂フヲ重ナルモノトシ其ノ他報酬事務所費仲仕賃等ニ支拂ヒ純益約金貳參百圓アリト云フ

大正元年十月ヨリ大正二年三月五日迄ノ入庫米三萬二千俵ニシテ内出庫米一萬二千俵アリ而シテ此ノ入庫米三萬二千俵ノ内ニテ約壹萬圓ヲ融金(日步貳錢六厘)セリ又共同販賣ノ委託モ漸次増加シ從來二萬俵位ナリシモノ今ヤ三萬俵ニ上リ其ノ價格モ非米券米ニ比シ一俵ニ付約拾錢高ク頗ル好成績ヲ示セリト云ヘリ

其ノ他ハ一般米券倉庫ニ於ケル事業ト何等異ル所ナキニ依リ茲ニ贅セサルベシ因ニ記ス本倉庫ハ夏季入庫米ノ少ナキ時ヲ利用シ蘭表ノ共同販賣ヲ行ヒ(檢査ヲ爲シテ)又金融ヲモ爲スコトアリト云フ一種副貳的ノ事業ト見ルヘキナリ

右横島及鏡ノ兩米券倉庫ハ同縣ニ於テ屈指ノ倉庫ニシテ一年ノ入庫米五萬俵乃至十五萬俵ノ多キニ達シ從テ其利益又尠少ナラサルモ其ノ他ノ倉庫ニ在リテハ入庫米ノ數量一萬俵以下ノモノ尠カラズ其ノ甚シキニ至リテハ僅ニ千俵ニ足ラサルモノアリ又其ノ倉庫ノ最大收容量モ二三千俵ヲ極度トスルモノ尠シトセス是レ畢竟單純ナル營利的事業ニアラスシテ一種ノ公共的公益的性質ヲ有スル特種ノ事業ナルヲ以テ爾ク小規模ノモノ各地ニ存在スル所以ナルヘシ

(附記)

肥後米券倉庫株式會社ニ田川支配人ヲ訪ヒタルニ氏ハ米券倉庫實行ノ情況及其ノ成績等ニ就キ諄々トシテ長時間ニ涉リテ懇切ニ説明セラレ大ニ裨益スル所アリキ左ニ掲クル事項ノ如キモ亦其ノ談話中ヨリ得タルモノニシテ極メテ斷片的ナリト雖モ而モ米券倉庫ノ真相ヲトスル上ニ於テ多少ノ參考トナルヘシト信スルニ依リ茲ニ附載スルコト、セリ

- 一、米券倉庫ト普通倉庫トハ同一米質ニシテ尙一俵ニ付拾錢乃至參拾五錢ノ直開キアルコト
- 二、肥料商、質商ハ米券ヲ以テ完全ナル擔保ナリトシテ大ニ之ヲ歡迎スルノ傾向アルコト
- 三、米券倉庫ニ對シテハ米ヨリモ人ヲ信用スルコト(倉庫長等ノ人選ニ注意ヲ要ス)
- 四、倉庫ニテ金融ヲ求ムルハ頗ル簡便ナルガ故ニ熊本市ニ至リテ之ヲ求ムルヨリハ遙ニ利益ナルコト
- 五、米券倉庫ハ金融、共同販賣、共同購入、小作改良、産米品評會等ノ事業ヲナスカ故ニ恰モ産業組合ヲ打シテ一丸トシタルモノナルコト
- 六、寄託者ノ請求ニ依リテ米ノ共同販賣ヲ行フ場合ニハ賣買者双方ヨリ一俵ニ付金五厘宛ヲ手数料トシテ徴收シ入札法(三等米ニ就テ)ニ依リテ之ヲ行フモノニシテ三等米ニ比シ一等米ハ貳拾錢、二等米ハ拾錢高トシ、五等米ニハ參拾五錢減ノ見當トナスコト
- 七、各郡トモ郡内ノ倉庫ヲ組合ヲ設ケテ共同販賣ヲ行フ計畫ナルコト

- 八、在庫米ノ火災保險ハ倉庫長ニ於テ之ヲ契約スルモノニシテ保險料ハ普通ノ三分ノ一位ナルコト
- 九、倉庫ノ役員ニハ概ネ給料制度ナシ年末慰勞手當ヲ給スル位ナルコト
- 十、理想トシテハ中央ニ一ノ本庫ヲ置キ他ハ悉ク支庫トスルヲ可トスルコト

(以上)

第四 米券倉庫經營ノ順序及注意スヘキ要項

- 熊本縣ニ於テ多ク行ハル、米券倉庫ノ經營ノ順序並ニ之ニ關シテ注意スヘキ要件等ヲ舉クレハ左ノ如シ
- 一、倉庫ノ設立ニ就キテ第一ニ寄託米ノ見込數ヲ調査シ且輸出ニ最モ便利ナル土地ヲ撰定シテ之ヲ設クルコト
 - 二、倉庫ハ信用ヲ第一要素トスルカ故ニ地方ノ重立タル地主ヲ本位トシ成ルヘク簡易ナル組合組織トシテ設立スルコト
 - 三、地主有志者ニテ設立ノ協議ヲナシ設立委員若干名ヲ撰定スルコト
 - 四、設立委員ニ於テ倉庫ニ關スル規約及經費豫算等ノ草按ヲ作りテ加盟者ヲ募集スルコト
 - 五、創立總會ヲ開キ組合規約及業務規程ヲ議シ其ノ原本ニ組合員ノ調印ヲナスコト
 - 六、倉庫長ハ成ルヘク大地主中信望アル人物ヲ推薦スルコト
 - 七、倉庫ハ理想トシテハ完全ナルモノヲ新築スルヲ可トスヘキモ多クノ資本ヲ要スルカ故ニ現下ニ於

テハ必スシモ之ヲ新築スルヲ要セス成ヘク舊來存在スル地主所有ノ土藏ヲ賃借シテ之ヲ利用スルコト從テ保管倉庫ノ數多數トナルモ妨ケナシ

八、倉庫賃借及保管ニ關スル契約ヲ締結シ各部ニ要スル準備ヲナスコト

九、保管料俵造料及倉庫ノ徵票等ヲ定ムルコト

十、資本金ハ融金ノ用ニ供スルカ故ニ固定スルコト稀ナリ而シテ資金ヲ有セサルモノハ地方ノ銀行ト特約シテ何時ニテモ便宜融金スルノ途ヲ設クルコト

十一、倉庫ハ或ル地點ノ土地ヲ中心トシテ之ニ本庫ヲ設ケ附近樞要ノ地ニ支庫ヲ置キ更ニ特種ノ事情アリテ必要アル場合ニハ出張庫ヲ置クモ可ナリ此ノ場合ニハ彼是相呼應シテ入庫米ノ増加ヲ圖リ各庫間米券ヲ共通シテ其ノ發達ヲ期スルコト

十二、倉庫ニハ唐箕、萬石篩、撰米器、改良再製ニ要スル器具ヲ配置シ各自ニ自由ニ使用セシメ且地方農具ノ改良ヲ促スノ途ヲ講スルコト

米券倉庫ハ前ニモ述ヘタル如ク會社組織、匿名組合又ハ普通組合ノ事業トシテ經營シ殊ニ產業組合法ニ依リ米穀ノ共同保管販賣等ノ事業ハ生産販賣組合、米券ニ對スル金融ハ信用組合ニ依リテ之ヲ行フコトヲ得ヘシト雖米券ハ何人ニテモ之ヲ買收スルコトヲ得ルカ故ニ若シ組合員ニ在ラサルモノ、手ニ入りタルトキハ組合員外ノ所有ニ係ル物品ヲ保管シ又ハ販賣スルコト、ナルモ元來產業組合ハ組合員ノ共同ノ

利益ヲ増進スルヲ目的トスルニ依リ組合員外ノ生産品ヲ保管シ又ハ販賣スルコトハ法ノ許サ、ル所ナリ故ニ此點ニ對シテハ多少特轄スル所アルヲ免レサルカ如シ現今熊本縣ニ於テハ普通組合即チ民法上ノ組合組織ヲ以テ經營スルヲ最モ農村ニ適スルモノトセリ之ヲ要スルニ其ノ何レニ依ルヘキカハ之ヲ計畫スル劈頭ニ於テ其ノ利害得失ノアル所ヲ研究シテ土地ノ狀況ニ適當スト認メタルモノヲ採用セサルヘカラス仍チ參考ノ爲メ熊本縣ニ行ハル、定款及規定並ニ米券等ヲ附録トシテ添附セリ他日之レカ設立ヲ計畫スルモノハ彼是參照シテ取捨其ノ宜ヲ失ハサランコトヲ期スヘキナリ

第五 餘 論

米券倉庫ノ利益ノ著大ナルモノアルハ前數節ニ於テ反覆列叙スル所アリ且熊本縣ニ於ケル經營ノ概要ヲモ併セテ紹介シタルニ依リ略明瞭ナルコトヲ得タルヘシト信ス然レトモ爰ニ特ニ注意スヘキハ此ノ特種ノ機關ヲシテ徒ニ商人ノ利益ニノミ偏倚スルコトナク飽迄モ農家ヲ本位トシテ經營スヘキコト是ナリ由來農業者ハ經濟思想ニ迂遠ニシテ商品トシテノ米ノ賣買ニ於ケル商機商略ノ如キハ之ヲ商人ニ比スレハ毎ニ幾多ノ遜色アルヲ免レサルニ依リ米券倉庫ノ利用後ニ在リテモ尙積年ノ情力ハ動モスレハ商人ノ爲メニ致サレテ此ノ事業ノ下ニ巨利ヲ享クルモノハ依然商人タルカ如キコトアラン乎是レ實ニ米券倉庫設立ノ本旨ニ悖ルモノトセサルヲ得サルナリ去リ逆必スシモ農業者ノ利益ノミヲ圖リテ商人ノ利益ハ毫モ

之ヲ眼中ニ置カスト云フニアラサルコトハ前數節ノ記事ヲ玩味セハ蓋思半ハニ過クルモノアルヘシ要ハ唯商的ニ偏スルコトナクシテ寧ロ農の本位タラサル可カラスト云フニアルノミ熊本縣ニ於ケル米券倉庫ハ今ヤ農村ニ於テ着々發達シ從テ農業者ノ享有スル利益尠少ナラサルモノアルニ至レリト雖當初米券倉庫ヲ設立シタルハ輸出米商組合ノ唱導ニ依リテ成立シタルモノナルカ故ニ寧ロ商的方面ニ偏シタルノ傾キアリ今尙多少其ノ痕跡ヲ存セサルニアラスト云フカ如キハ頗ル留意スヘキ事ナリト謂フヘシ

如上ノ見地ヨリシテ米券倉庫ヲ經營スル場合ニ於テハ其ノ設立者ハ必ス地方ノ大地主之レカ中心トナリ其ノ他ノ農業者ヲ組合員トシ或ハ之レニ幾分ノ米商人ヲ加味シテ兩者間ノ調節ヲ圖リ農本商副的組織トシテ之レカ運用ヲ圓滿ニスルコトヲ期セサルヘカラサルモノト信スルナリ

次ニ米券倉庫ノ事業ヲ產業組合ノ事業トシテ經營セハ倉庫ノ利用ト組合精神ノ普及ト兩ナカラ併セ行フコトヲ得テ頗ル便利ナルカ如シト雖既ニ前ニモ述ヘタル如ク米券カ組合員以外ノモノ、手ニ入りタル場合ニ於テ其ノ所有ニ係ル米穀ヲ保管スルカ如キハ明カニ產業組合法ニ抵觸スルカ故ニ該法ノ規定中何等カノ特例ヲ設クルニアラサレハ現今ノ制度ノ下ニ於テ直ニ米券倉庫事業ヲ擧ケテ經營スルコト能ハサルモノトセサルヲ得ス故ニ米券ヲ發行スルコトナクシテ單ニ金融及販賣ノ事業ノミヲ經營スルノ外ナカルヘシ

又米券倉庫ハ附近ニ於テ數個ヲ設立スルハ不可ナリ成ルヘク適當ナル中心地ニ本庫ヲ置キ其ノ他ハ支庫トシテ互ニ米券ヲ共通シ彼是相呼應シテ其ノ事業ノ隆盛ヲ圖ルヲ穩當ナリトス我郡ニ在リテハ米穀ヲ武生及鯖江方面ニ送リテ汽車積トナスニ便利ノ土地及舟楫ノ便ニ依リテ三國港ニ送ルニ好適ノ土地ヲ撰定シ且附近ノ集散米ガ果シテ米券倉庫ヲ經營スルニ足ルヤ否ヤヲ精査シ而シテ後之レカ計畫ヲ立テサルヘカラス若シ夫レ他日輕便鐵道成ルノ日アラシ乎大ニ之ヲ利用シテ直ニ汽車ニ接續輸出スルコトヲ得ルカ故ニ集散ノ中心點自ラ變化セサルヲ得サルヤ勿論ナリ我郡平坦部ト稱スル各村ハ即チ米ノ主產地ニシテ此ノ種事業ノ經營ニ就テハ最モ痛切ナル利害關係ヲ有スルヲ以テ苟モ有益ナリトノ斷定ヲ得タランニハ奮勵一番速ニ之レカ計畫ニ從ハンコトヲ望マスンハアラス今本郡一年ノ米產額ヲ見ルニ約三十萬俵アリ内約十七萬俵ハ郡内ニテ消費スルモノトシ残り十三萬俵ハ郡外ニ販賣スルモノナルヲ以テ其ノ大部分ハ米券倉庫ヲ利用シ得ヘキモノト認ムルナリ故ニ郡内適當ノ地ニ二三ノ本庫ヲ置キ其ノ他必要ニ應ジテ數箇ノ支庫ヲ設ケ公共的精神ヲ以テ熱心誠實ニ此ノ事業ニ從事スルモノアラシ乎其ノ地方ニ及ホス利澤ノ偉大ナルモノアルヘキハ敢テ疑ヲ容レサルナリ

附

錄

米券倉庫匿名組合契約

- 第一條 本組合ハ商法第二百九十七條乃至第三百四條ノ規定ニ依リ匿名組合組織トス
- 第二條 事業上表面ノ名義ハ組合員何某ニ於テ倉庫長トシテ常務ヲ擔當シ他ノ組合員ハ各支庫保管部長トシテ其ノ擔當セル支庫入庫米ノ管理ニ任シ常ニ倉庫長ノ事務ヲ補助シ以テ事業ノ確實ト發達ヲ計ルモノトス
- 事務取扱上ノ過失又ハ不備等ノ爲生シタル損害アルトキハ各其擔當者ニ於テ辨償スルモノトス
- 第三條 事業上ノ資本ハ必要ニ應シ組合員ニ於テ各自應分ノ出資ヲ爲スモノト定メ尙倉庫長ニ於テ銀行其他ヨリ便宜借入金ヲ爲シ以テ之ニ充ツルモノトス
- 第四條 組合員ノ出資シタル現金ニ對シテハ其使用日數及金額ニ應シテ其當時ノ借入金同様ノ日歩利息ヲ交付スルモノトス
- 第五條 事業上ノ會計ハ毎年十二月三十一日ヲ以テ之ヲ決算シ純益金ハ其ノ十分ノ何ヲ組合ノ積立金トナシ其他ハ肥後米券倉庫組合ニ稟議ノ上各組合員ニ對スル配當額ヲ定ムルモノトス若シ決算上損失ヲ生シタルトキハ其補填方法ヲ定ムルコトモ亦同シ
- 第六條 米穀保管及米券金融並ニ米穀俵造及米券賣買ノ受託等ニ關スル事業ノ外尙別ニ他ノ事業ヲ營

マントスルトキハ組合員會議ヲ以テ決定ス
右契約ノ證トシテ本書ヲ作製シ組合員ハ左ニ記名署名印シ其謄本ヲ各自一本宛所持シ尙一本ハ肥後米券倉庫ニ提出スルモノトス

年 月 日

組合員 連 署

米券倉庫組合定款

第一章 總 則

第一條 組合ハ營業者賣買ノ米穀ヲ集積シ之ニ融金ノ途ヲ與ヘ從來農商間ニ於ケル弊害ト危險トヲ防除シ其ノ取引ヲ圓滑ニシ之ガ集散輸送ノ敏速ヲ期シ以テ產米ノ改良ヲ計リ聲價ヲ揚ゲ販路ヲ擴張シ地方ノ利益ヲ増進スルコトヲ目的トシ米券倉庫ヲ設置ス

第二條 組合ノ米券倉庫ハ其本庫ヲ何地ニ支庫ヲ何地ニ設置ス

第三條 組合ハ地方ノ地主營業者及米商人ヲ以テ組合員トシ之ヲ設置ス

第二章 資本及持分

第四條 組合ノ事務資金ハ何萬圓トシ之ヲ何百口ニ分チ一口ヲ何拾圓ト定メ組合員ニ於テ其ノ持分トスル口數ニ應シ出資スルモノトス

但シ第一回拂込トシテ一口金何圓ヲ出資シ其殘餘ハ必要ニ應シ總會ニ於テ其拂込期日ヲ定ム

出資ノ拂込期日ヲ延怠シタル組合員ハ其期日ノ翌日ヨリ百圓ニ付何錢ノ割ヲ以テ延怠日歩ヲ徵收ス

第五條 持分ヲ他人ニ讓渡スル場合ハ双方連署ヲ以テ倉庫長ニ名簿書替ヲ請求スヘシ

持分ヲ組合員外ノ者ニ讓渡セントスルトキハ評議員會ノ承認ヲ經ルヲ要ス

第六條 組合員ハ其拂込濟ノ出資額ニ應シテ組合財産ニ對スル權利ヲ有ス

持分讓受人ハ其ノ持分ニ付讓渡人ノ權利義務ヲ承繼ス

第三章 事 業

第七條 組合ニ於テ實行スル事業左ノ如シ

- 一、穀物ノ保管
- 二、穀物俵裝ノ受託
- 三、米券ニ對スル融金取扱
- 四、米券ノ賣買受託
- 五、肥料農具ノ購買紹介
- 六、穀物ノ運送
- 七、穀物ニ對スル保險代辦

米券倉庫組合定款

第四章 役員及業務

第八條 組合ニ左ノ役員ヲ置キ其任期ヲ二ケ年トシ總會ニ於テ之ヲ選定ス

倉庫長金融部長 各一名

支庫長 何名

保管部長 何名

評議員 何名

但シ倉庫長金融部長ハ何口以上支庫長保管部長ハ何口以上ノ出資者ヲ以テ之ニ充ツ

第九條 組合ニ監督何名ヲ置キ何某ニ囑托シ組合業務一切ノ監督ヲ委任ス

第十條 米券ノ發行及會計ニ關スル業務ハ倉庫長及支庫長ニ於テ又金融部ニ關スル事務ハ金融部長ニ

於テ又米券保管及俵裝其他ニ關スル事項ハ保管部長ニ於テ孰レモ擔當ス

但シ擔當業務ニ就テハ其ノ者ノ無限責任トス

第十一條 評議員ハ組合ノ資本金使用方法及組合經費ノ豫算決算ヲ議定ス評議員會ハ倉庫長之ヲ招集シ

又ハ評議員半數以上同意ノトキ開會シ其ノ議事ハ多數決トス

第五章 總會

第十二條 總會ハ每年十一月倉庫長之ヲ招集ス

但シ必要ノ場合若クハ組合員過半數ノ請求アルトキハ臨時會ヲ開ク

第十三條 議事ハ出席組合員過半數ヲ以テ決議シ可否同數ナルトキハ議長之ヲ決ス

但シ議事ハ議事録ニ記載シ評議員三名及監督ト共ニ署名捺印スルモノトス

第六章 決算

第十四條 組合ノ事業年度ハ每年十一月ヨリ翌年十月迄ヲ一期トシ每期ノ決算ヲ總會ニ報告ス

第十五條 組合ノ會計決算ハ每期總益金ヨリ總損金ヲ控除シタル殘額ヲ純益金トシ左ノ步合ニヨリ之レ

ヲ配當ス

一 純益金ノ何分 組合員出資持分ニ應シ割充ツ

一 何分 倉庫長及支庫長ノ責任報酬

一 何分 金融及保管部長同上

第十六條 米券ニ關スル金融其他ニ關シ組合ノ資本ニ不足ヲ告クルトキハ倉庫長及金融、保管部長ニ於

テ其ノ持分ノ外別途ノ出資ヲナシテ之ニ充ツ但シ其利害經濟ハ一般組合員ニ關セサルモノトス

第七章 雜則

第十七條 業務規定ハ別ニ評議員會ノ議決ヲ經テ制定ス

右大正何年何月組合創立總會ニ於テ議定シ各自頭書ノ口數ヲ出資持分ト定メ組合員トシテ本定款ヲ遵守スルコトヲ契約シ調印スルモノナリ

組合員 連 署

横島米券倉庫株式會社定款

第一章 總 則

第一條 當會社ハ横島米券倉庫株式會社ト稱ス

第二條 當會社營業ノ目的左ノ如シ

- 一、穀物ノ保管
- 二、俵造ノ受托
- 三、穀物ノ移送
- 四、穀物ニ對スル融金
- 五、穀物賣買及受渡ノ受托
- 六、保險業ノ代辦

第三條 當會社ノ資本金ハ五萬圓トス

第四條 當會社ハ本店ヲ熊本縣玉名郡横島村大字横島三千二百十三番地ニ置キ必要ノ地ニ倉庫ヲ設置ス

第二章 株 式

第五條 當會社ノ株式ハ之ヲ百株ニ頒チ一株ノ金額ヲ五百圓トス資本金ハ株主總會ノ決議ニヨリ之ヲ増減スルコトヲ得

第六條 當會社ノ株券ハ記名式ニシテ一株毎ニ株券一通ヲ作ルモノトス

第七條 株金第一回ノ拂込ハ一株ニ付金百貳拾五圓トス第二回以后ノ拂込ハ必要ノ都度總會ニ於テ之ヲ定ム

第八條 當會社ハ總會前一ヶ月以内ニ相當ノ期間ヲ定メ之ヲ公告シテ株式ノ名義書換ヲ停止スルコトヲ得

第三章 株主總會

第九條 當會社ノ總會ハ定期臨時ノ二種トス

一、定期總會ハ毎年十一月ニ之ヲ召集ス

二、臨時總會ハ取締役又ハ監査役ニ於テ必要ト認ムル時之ヲ開ク可シ

第十條 總會ノ議決事項ハ之ヲ議事録ニ記載シ議長及監査役一名以上之ニ署名ス可シ

第四章 役員

第十一條 當會社ニ取締役四名監査役四名ヲ置ク取締役ハ拾株以上監査役ハ五株以上ヲ所有スル株主中ヨリ總會ニ於テ選舉シ取締役ノ互選ヲ以テ社長ヲ置ク

第十二條 取締役ノ任期ハ三ケ年トス但シ滿期ニ至リ再選スルヲ妨ケス

第十三條 役員ノ報酬ハ定期總會ノ決議ニヨリ之ヲ定ム

第五章 計算

第十四條 當會社ノ營業年度ハ毎年十一月一日ヨリ翌年十月三十一日迄ノ一ケ年トス

第十五條 當會社ハ各營業年度總益金ヨリ總損金ヲ控除シ其殘額ヲ積立金株主配當金及賞與金等ニ分チ總會ノ承認ヲ經テ之ヲ決定ス

第十六條 當會社所屬倉庫ニ關スル經濟ハ其倉庫毎ニ之ヲ區別シテ計算スルモノトス

横島米券倉庫株式會社業務規定

第一章 審査部

第一條 當倉庫ニ保管スル米穀ハ之ヲ肥後米輸出同業組合輸出米検査所ノ検査ヲ經テ入庫スルモノトス

第二條 地主ニ於テ其小作米ヲ當倉庫ニ入庫シテ取得スルトキハ其地主及小作人ニ於テ亦農商營業者ガ直接入庫スルトキハ其關係者ニ於テ孰レモ本人若ハ其代理者検査ニ出會スルコトヲ得

第三條 當倉庫ニ於テ必要ト認メタルトキハ再検査ヲ求ムルコトアルヘシ

第四條 検査ノ方法及成績ニ就テハ何人モ異議ヲ唱フルコトヲ得ス

第五條 入庫米ノ検査料ハ肥後米輸出同業組合ノ規定ニ依リ之ヲ出庫スルトキ其關係者ヨリ徴收シテ検査所ニ納付スルモノトス

第二章 保管部

第六條 入庫米ハ火災保險ヲ附シテ貯倉保管スルモノトス

第七條 當倉庫ニ米穀ヲ入倉スルトキハ保管部ニ於テ入庫通告票ヲ交付ス

第八條 前條通告票ハ證券係ニ於テ預證券質入證券ニ引換スヘシ

第九條 預證券質入證券ノ發行及取扱ニ關シテハ商法第三百五十七條乃至第三百八十三條ノ規定ニ依リ處理スルモノトス

第十條 米穀ヲ出庫セントスル時ハ受取人ニ於テ證券ノ裏面ニ年月日ヲ記シ記名捺印シテ證券係ニ差出スヘシ

證券係ハ保管料其他保管ニ關スル費用及立替金等ノ辨濟ヲ受け出庫通告票ヲ交付シ保管部ニ於テ是ト

引換ニ其品種等級ニヨリ入庫米ノ引渡ヲナス可シ

但質入證券ヲ質入シタル場合ハ債權及其利息ノ全部供托アラサレハ出庫スルヲ得ス

第十一條 入庫米ハ其品種等級ヲ區別シテ之ヲ合同貯倉シ置キ出庫ノ時ハ積込ノ順序ヲ問ハス總テ共通

シテ其品種等級ニ依リ俵裝ノ儘引渡スモノトス

第十二條 入庫米ヲ分割シテ其一部ヲ内出シ又ハ二枚以上ノ證券ヲ合併セントスルトキハ其書換ヲ請求スヘシ

第十三條 證券ヲ滅失シタルトキハ相當ノ擔保ヲ提供シ且保證人ヲ立テシメ再渡スヘシ

但シ管轄區裁判所ニ於テ除權判決確定スルニアラザレバ其擔保物件ヲ返戻セス

第十四條 當倉庫ニ於テ入庫米ニ關シ其責ニ任スルハ鼠切雨洩竊盜紛失繩切等ヨリ生スル損害ニ限ルヘシ

第十五條 火災地變自然ノ樹減等其他抗拒スヘカラサル災害ニ依リ生シタル損害ハ之ヲ公告シ入庫米持

主五名以上ノ立會ヲ以テ検査シ之ヲ現在入庫米總俵數ニ割充テ差入主ニ分賦スモルモノトス

第十六條 當倉庫ノ米穀保管期間ハ毎年十一月一日ヨリ翌年十月卅一日迄ヲ以テ一期トシ新古米ヲ區別ス其期間滿限ニ至リ尙保管ノ繼續ヲ求ムルモノハ證券ノ書換ヲ請フヘシ此場合ニ於テハ更ニ在庫殘損米ノ検査ヲ執行シ其等級ヲ更訂ス若シ其期間滿限ニ至リ保險繼續ノ手續ヲ怠ルモノアルトキハ當倉庫

ハ再検査ノ等級ニ依リテ取扱ヒ前検査ノ等級ハ之ヲ無効トスヘシ

第十七條 當倉庫ノ米穀保管料ハ別ニ之ヲ定メ公告ス

第十八條 保管料ハ月割ヲ以テ其米穀出庫ノ關係者ヨリ徴收スルモノトス

第十九條 預證券質入證券ヲ交附又ハ書換若クハ再渡スルトキハ一通ニ付印刷費及ヒ印紙代トシテ金拾錢ヲ徴收スルモノトス

第三章 俵造部

第二十條 倉庫ニ俵造部ヲ置キ米穀ヲ入庫スル者ノ委托ヲ受ケ其俵造及結繩ヲナスモノトス

第二十一條 小作米其他ニシテ素皮ノ儘ヲ以テ其俵造ヲ當倉庫ニ寄托スルモノアルトキハ先ツ其米ニ對シテ検査ヲ執行シ俵造ノ上更ニ其樹量及俵造ノ検査ヲ施スヘシ

第二十二條 前條ノ素皮米ハ當倉庫ニ於テ其樹量全部ヲ檢メ一俵ニ付四斗定トシ之レヨリ以上ノ出樹ニ對シテハ別ニ端米入庫票ヲ交付シ若シ其定量ヲ缺クトキハ同等米ヲ以テ之ヲ補充セシムルモノトス

代金ヲ以テ補充米ヲ提供スルモノアルトキハ當倉庫ハ時價ニ依リ之ヲ計算シテ補充ヲナスヘシ

四斗未滿ノ入庫米ニ對シテハ検査ノ上端米入庫票ヲ交付ス

第二十三條 前條一項ノ場合ニ於ケル端米ノ等級ハ其入庫原米ノ多數ノ等級ニ從ヒ決定ス

第二十四條 第二十二條ノ端米入庫票ハ其數枚ヲ合算シテ同等米ノ量ガ一俵ノ定量以上ニ達スルトキハ

之カ俵造ヲナスヘシ

第二十五條 當倉庫ニ於テ俵造スルモノハ總テ倉庫常設ノ人夫ヲ以テ掛廻シ及調製ヲナサシムルモノトス

第二十六條 當倉庫ニ於テ俵造シタルモノハ一定ノ證票ヲ押捺シテ貯積シ其證券ニ之ヲ附記スヘシ

第二十七條 俵造料ハ左ノ四種トシ其定額ハ別ニ之ヲ公告ス

甲 素皮米ニ對スル俵造料

乙 端米ニ對スル俵造料

丙 上皮掛替俵造料

丁 縦横繩掛替直シ料

第四章 融金部

第二十八條 當倉庫ハ豫メ確實ナル銀行ト連絡ヲ計リ入庫米ニ對シテハ融金ノ取扱ヲナスヘシ

第二十九條 入庫米ニ對シテ融金スルトキハ其證券ヲ提供セシメ其融通程度及期限等ハ取扱ノ都度協定スルモノトス

第三十條 當倉庫ハ豫テ海陸運輸機關ト連絡ヲ計リ入庫米ニ對シテ荷爲替ノ取組及輸送上ノ保險契約等ヲ取扱フヘシ

第三十一條 融金ニ關スル利息及手数料並ニ取扱手續及處分法等ハ別ニ之ヲ定メ公告ス

第五章 雜則

第三十二條 當倉庫ハ毎日出ヨリ日没迄執務スルモノトシ大祭日祝日ハ休業トス

但シ時宜ニ依リ臨時休業スルコトアルヘシ

第三十三條 入倉庫米ニシテ其米撰俵製ノ改良優美ニシテ當業者ノ模範トスルニ足ルモノアルトキハ官廳農會又ハ同業組合等ニ相當ノ賞表ヲ稟請スルモノトス

第三十四條 當倉庫ハ總テ米穀市場ト連絡ヲ計リ入庫米持主ノ請求ニ應シテ其直輸販賣ヲ取扱ヒ又米穀市場ノ寄托ヲ受ケテ入庫米ノ買附輸送ヲ取扱フヘシ

第三十五條 當倉庫ハ隨時原産地ヨリ純良ナル種粳ヲ購入シテ當業者ニ配付シ又ハ肥料ノ共同購求ヲ取扱ヒ其他斯業ノ改良ニ關スル事故ニ就キ當業者ノ便益獎勵ヲ計ルヘシ

預り證券 (米券)

(表)

印 紙	第 號
寄託者	
殿	

預り證券

米 券 米

庫 倉 券 米

券 證 預

預
り
證
券

預
り
證
券

記 號	種 類	個 數	等 級				
			一 等	二 等	三 等	四 等	五 等
米	產		俵	俵	俵	俵	俵
			但大正 年產米				
荷 造			二重皮五ヶ所結堅繩掛俵造				
平均量			壹俵四斗入				
總數量			米券倉庫				
保 管 料			一俵二付一ヶ月 金				
保 管 期 間			從大正 年 月 日 至大正 年 月 日				
保 管 場 所			米券倉庫				
摘 要							

四〇

火 災 保 險 金 額

保 險 者 東 京 火 災 保 險 株 式 會 社

保 險 期 間 從 大 正 年 月 日 至 出 庫 日 時

前記ノ貨物正ニ保管仕候寄託者又ハ其指圖ニ從ヒ此證券及ヒ第 號質入證券引換ニ御渡可申候也

大 正 年 月 日

米券倉庫ニ於テ此證券ヲ作ル

約 條

一 寄託者及預證券及質入證券ノ所持人ハ左ノ事項ヲ承認シタルモノトス
 一 米穀ヲ出庫セントスルトキハ證券ノ裏面ニ受取人ニ於テ年月日ヲ記シ之ニ記名捺印シテ差出スヘシ之ト引換ニ其品種等級ニ依リ入庫米ヲ引渡スヘシ但質入證券ヲ質入シタル場合ハ債權及其利息ノ全部供託アラサレハ出庫スルヲ得ス
 一 入庫米ハ輸出米検査所ノ検査ヲ受ケ其品種等級ヲ區別シテ之ヲ合同貯倉シ置キ出庫ノトキハ積込ノ順序ヲ問ハス各寄託者ノ米穀ヲ總テ共通シテ其品種等級ニ依リ俵裝ノ儘引渡スモノトス
 一 證券ヲ滅失シタルトキハ相當ノ擔保ヲ提供シ且ツ保證人ヲ立テシメ之ヲ再渡スヘシ但管轄區裁判所ニ於テ除權判決確定スルニアラサレハ其擔保物件ヲ返戻セス

四一

原簿 丁數

入庫米ニ關シ其責任ハ鼠切雨洩窃盗紛失漏切等ヨリ生スル損害ニ限ルモノトシ蟲入蝨
 付其米穀ノ性質及氣候ノ變遷ヨリ生スル變質減量等ノ損害ニ關シテハ其ノ責任セズ
 天災地變其他抗拒スヘカカラサル災害ニ依リ生シタル損害ハ之ヲ公告シ入庫米持主五名以上ノ
 立會ヲ以テ検査シ之ヲ現存入庫米總數ニ割充テ差入主ニ分賦スルモノトス
 保管期間兩限ニ至リ尙保管ノ繼續ヲ求ムルモハハ證券ノ書管ヲ請フヘシ此場合ニ於テハ更ニ
 在庫殘存米ノ検査ヲ執行シ再検査ノ等級ニ依テ取扱ヒ前検査ノ等級ハ之ヲ無効トスヘシ
 保管料ハ月別ニ以テ徵收ス
 此證券ニ記載セル火災保險ニ關シテハ當倉庫ト火災保險會社間トノ契約及其火災保險會社ノ
 保險規則ニ由ルモノトス
 此證券記載ノ米穀ノ全部又ハ其一部ヲ肥後米券倉庫株式會社ノ保管倉庫ニ移送シテ其保管場
 所ヲ變更セシムコトヲ寄託者ヨリ請求アリタルモキハ之ヲ其指定地ノ倉庫ニ移送シテ保管シ其
 質權者ニ對シテハ保管場所變更ノ通知ヲタルモノトス
 前項移送ニ關シテハ費用及兩倉庫ノ保管料輸出検査料及其他ノ立替金等ハ總テ米穀出庫ノト
 キ肥後米券倉庫株式會社ニ於テ徵收スルモノトス
 保管場所變更後ノ保管料及保險料等ハ肥後米券倉庫株式會社ノ定ムル金額ニ依レ
 移送後ノ保管ニ就テハ雨洩窃盗紛失等ヨリ生スル損害ハ賠償スルモノトス雖モ天災地變其他抗拒ス
 ヘカカラサル災害及鼠喰蟲入並ニ移送取扱中ノ損傷其他自然ノ消耗ニヨリ生シタル損害ハ其責
 任セズ
 前各項ノ外商法ノ規程及當倉庫ノ業務規定並ニ當倉庫ト肥後米券倉庫株式會社トノ間ニ契約
 セル肥後米券移送米取扱規定ニヨルモノトス

(裏)

質	
債務者	金
支拂場所	利息
辨濟期	大正 年 月 日

載記權

大正 年 月 日	質權者
金	利息
債務者	支拂場所
辨濟期	大正 年 月 日

讓渡裏書

大正 年 月 日	質權者
此證券ハ讓渡候也	殿へ第 號質入證券ト共ニ
大正 年 月 日	質權者
此證券ハ讓渡候也	殿へ第 號質入證券ト共ニ

預り證券

		印紙	
第 號		寄託者 殿	
摘要	總數量	平均量	荷造
		壹俵四斗入	二重皮五ヶ所結堅繩掛俵造
	場保 所管	期保 間管	保管料
		至大正	一俵ニ付一ヶ月
	米券倉庫	年十月三十一日	金
			但大正
			年産米
			等 俵
			等 俵
			等 俵
			等 俵
			等 俵

(表)

質入證券 (米券)

(注意) 本券ハ厚手模造紙ノ表裏兩面ニ印刷シ其ノ取扱ニ便セリ

此證券ノ寄託物悉皆正ニ受取候也

大正 年 月 日

載記出内								年月日	内出俵數	内出人氏名	内入金高	證	印		
大正	月	年	日	大正	月	年	日	大正	月	年	日	大正	月	年	日

質入證券

四六

米 券 米

庫 倉 券 米

質 入 證 券

火災保險金額

東京火災保險株式會社

保險期間 從大正 年 月 日 至出庫日時 午 時

前記ノ貨物ニ對シ第 號預證券ト共ニ此證券 發行候也

大正 年 月 日

米券倉庫ニ於テ此證券ヲ作ル

約 條

一 寄託者及預證券及質入證券ノ所持人ハ左ノ事項ヲ承認シタルモノトス
一 米穀ヲ出庫セントスルキハ證券ノ裏面ニ受取人ニ於テ年月日ヲ記シ之ニ記名捺印シテ差出
一 スヘシ之ト引換ニ其品種等級ニ依リ入庫米ヲ引渡スヘシ但質入證券ヲ質入シタル場合ハ債權
一 及米利息ノ全部供託アラサレハ出庫スルヲ得ス
一 入庫米ハ輸出米検査所ノ検査ヲ受ケ其品種等級ヲ區別シテ之ヲ合同貯倉シ置キ出庫ノトキハ
一 積込ノ順序ヲ問ハス各寄託者ノ米穀ヲ總テ共通シテ其品種等級ニ依リ後裝ノ儘引渡スモノト
一 證券ヲ滅失シタルトキハ相當ノ擔保ヲ提供シ且ツ保證人ヲ立テシメ之ヲ再渡スヘシ但管轄區
一 裁判所ニ於テ除權判決確定スルニアラサレハ其擔保物件ヲ返戻セス

原簿 丁數

(裏)

一 入庫米ニ關シ其責任スルハ風切雨洩窃盜紛失等ヨリ生ズル損害ニ限ルモノトシ倉庫入庫
一 付其他米穀ノ性質及氣候ノ變遷ヨリ生ズル變質減量等ノ損害ニ關シテハ其ノ責任任セズ
一 天災地變其他抗拒スヘカラサル災害ニ依リ生ズル損害ハ之ヲ公告シ入庫米持主五名以上ノ
一 立會ヲ以テ検査シ之ヲ現存入庫米總數ニ割充テ差入主ニ分賦スルモノトス
一 保管期間滿限ニ至リ尙保管ノ繼續ヲ求ムルモノハ證券ヲ請フヘシ此場合ニ於テ更ラ
一 二在庫殘存米ノ検査ヲ執行シ再検査ノ等級ニ依テ取扱ヒ前検査ノ等級ハ之ヲ無効トスヘシ
一 保管料ハ月割ヲ以テ徵收ス
一 此證券ニ關シテハ火災保險ニ關シテハ當倉庫ト火災保險會社間トノ契約及其火災保險會社ノ
一 保險規則ニ由ルモノトス
一 此證券記載ノ米穀ノ全部又ハ其一部ヲ肥後米券倉庫株式會社ノ保管倉庫ニ移送シテ其保管場
一 所ヲ變更セントハ保管場所變更ノ通知ヲナスモノトス
一 質權者ニ對シテハ保管場所變更ノ通知ヲナスモノトス
一 前項移送ニ關スル費用及兩倉庫ノ保管料輸出入検査料及其他ノ立替金等ハ總テ米穀出庫ノト
一 キ肥後米券倉庫株式會社ニ於テ徵收スルモノトス
一 保管場所變更後ノ保管料及保險料等ハ肥後米券倉庫株式會社ノ定ムル金額ニ依リ
一 移送後ノ保管ニ就テハ雨洩窃盜紛失等ヨリ生ズル損害ハ賠償スルト雖モ天災地變其他抗拒ス
一 ヘカラサル災害及鼠喰蟲入並ニ移送取扱中ノ損傷其他自然ノ消耗ニヨリ生ズル損害ハ其責
一 任セズ
一 前各項ノ外商法ノ規程及當倉庫ノ業務規定並ニ當倉庫ト肥後米券倉庫株式會社トノ間ニ契約
一 セル肥後米券移送米取扱規定ニヨルモノトス

此證券ハ

大正 年 月 日

殿へ第

號預證券ト共ニ讓渡候也

此證券ハ

大正 年 月 日

殿へ第

號預證券ト共ニ讓渡候也

質入前ノ讓渡裏書

質入證券

四七

定設ノ權質	載記出内						年月日	内出俵數	内出人氏名	内入金高	質權者證印
	大正 月 日	大正 月 日	大正 月 日	大正 月 日	大正 月 日	大正 月 日					
金 辨濟期 大正 年 月 日 前記ノ債權擔保トシテ 大正 年 月 日 利息 日支拂場所 殿へ此證券ヲ讓渡候也											

書裏渡讓ノ權質	拂支	定設ノ權質	拂支
此證券ハ 大正 年 月 日 殿へ讓渡候也	前記ノ債權金額元利共正ニ受取候也 大正 年 月 日	金 辨濟期 大正 年 月 日 前記債權ノ擔保トシテ 大正 年 月 日 利息 日支拂場所 殿へ此證券ヲ讓渡候也	前記ノ債權金額元利共正ニ受取候也 大正 年 月 日

(注意) 本券ハ前項記載ノ預リ証券ニ接續印刷スルモノトス
質入證券

檢査積込票

級 等					俵數 米	大正 年 月 日	第 號
五等	四等	參等	貳等	壹等			
俵	俵	俵	俵	俵		名	氏
要 摘					檢査員 積込係	人參持	者托寄
					號		

(庫倉券米)

檢査積込票

級 等					俵數 米	大正 年 月 日	第 號
五等	四等	參等	貳等	壹等			
俵	俵	俵	俵	俵		名	氏
要 摘					檢査員 積込係	人參持	者托寄
					號		

入庫米通告票

總量	樹廻 增	級 參等	等 貳等	等 壹等	數俵 一米	日月 大正 年 月 日	號番 第 號	氏 名	寄 托 者	持 參 人

大正	第	號	日入庫	寄托者	持參人
年					
月					
殿					

入庫米通告票

一米
但大正 年產 米

級	等
參等	壹等
俵 格外	俵 四等
俵	俵

樹廻
成績
出樹 升 合 勺
前記出樹米ニ對シテハ別ニ端米入庫票ヲ交付ス

右入庫濟ニ付本書ニ依リ證券發行ノ手續可相成候也

注意(一、本書ハ大正 年十月末日限リ證券發行ノ手續ヲナスモノトス
二、右期限ヲ經過シタルトキハ本書ハ無効トス)

米券倉庫組合
保管部長

米券倉庫證券係御中

證券 第 號

票告通庫入米端			
第	大正	年	月
號	日	入庫	持參人
寄托者			
殿	殿	等	等
級	等	但大正 年産 米	
一米	右入庫濟ニ付本書ニ依リ證券發行ノ手續可相成候也		
<p>注意</p> <p>一、本書ハ大正 年十月末日限り證券發行ノ手續ヲナスモノトス</p> <p>二、右期限ヲ經過シタルトキハ本書ハ無効トス</p> <p>米券倉庫組合 保管部長</p>			
證券係御中			

出庫米通知票

證券 第 號

米						大正	第
格	等	等	等	等	等	年	年
外	五	四	三	二	一	月	月
						日	日
						名	氏
但大正 年産 米							
要 摘							

出庫米通告票

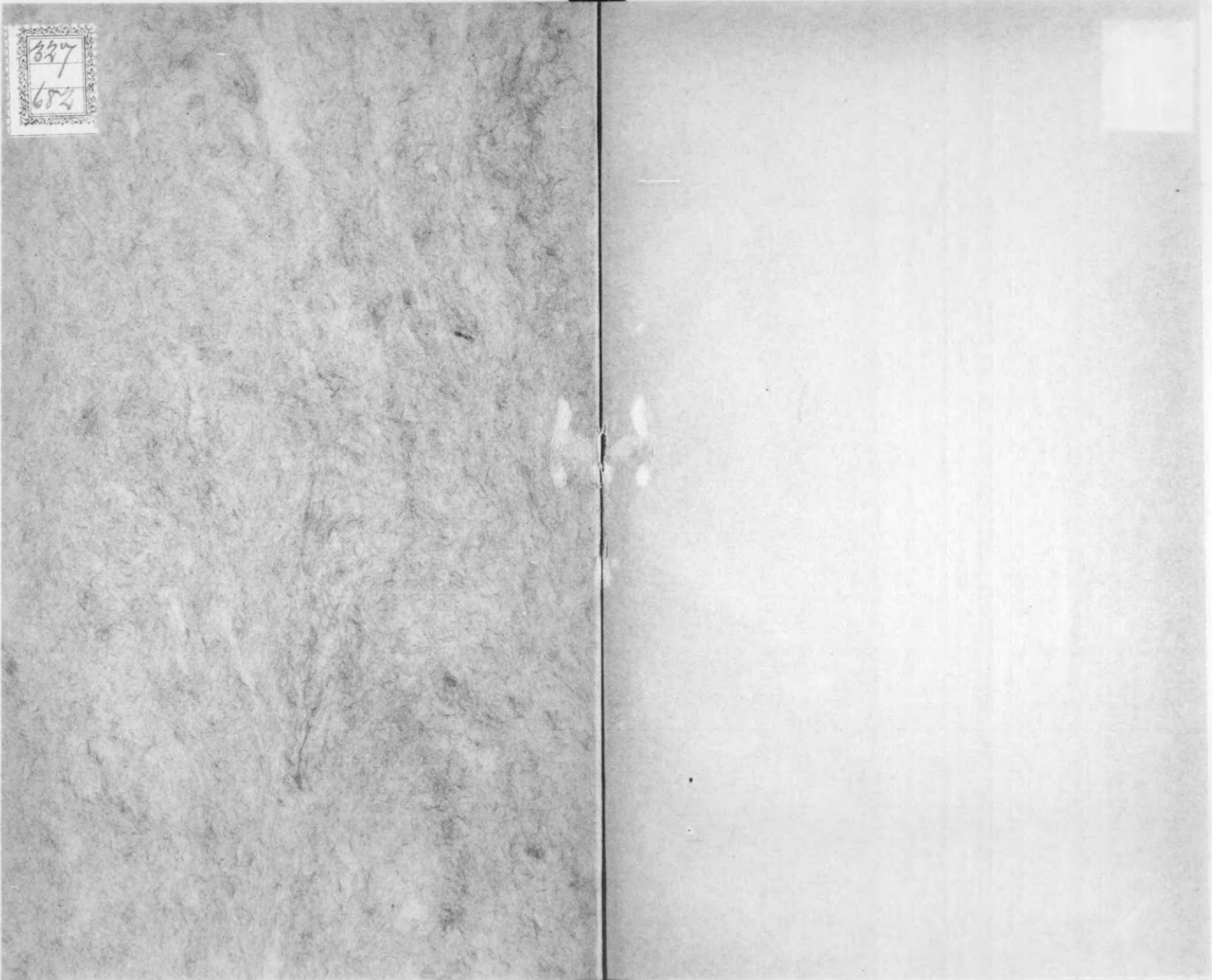
要 摘	米			第 大正 年 月 日 號 氏 名
	但大正	年產	米	
	級 等			
右手續濟ニ付本書ニ依リ現品出庫ノ手續可相成候也 米券倉庫長 保管部長 殿	三等	二等	一等	殿
	格外	五等	四等	
	證券 第 號			

大正二年九月廿五日印刷
大正二年九月三十日發行

福井縣丹生郡役所

印刷人 河田 貞次郎
岐阜縣安八郡大垣町大字郭百五十三番戶
西濃印刷株式會社代表者

印刷所 西濃印刷株式會社
岐阜縣安八郡大垣町大字郭百五十三番戶



327
682

エト7M-62

終